

市民活動ニュース

第84号

2008年4月

今こそ学び、残したい！先人の知恵 坂本みつまた祭り 春、芽吹く郷に集う感動の一日

やっと寒かった冬も過ぎた3月29日、早春の恒例となった坂本みつまた祭りが開かれました。

朝から好天に恵まれた坂本農村公園は、群生地へのツアーに向かう約150人の人々であふれました。現地への道は普段は山仕事の人しか利用しない細道で倒木や崩壊で通れない状態でしたが、地元の方を中心にこの日のために特別に整備されました。歩くこと約40分、今年はちょうど開花のピークとなり山の斜面は一面に黄色く染まっています。数十年以上前の戦後の復興期に、将来は換金できればと植えたミツまた。結局、時代の流れで製紙原料としては使われることはありませんでしたが、人々に感動を与える場になることを先人達は想像さえしなかったでしょう。開花状況は年により差はありますが、この辺り一帯約数100m四方にみつまたの群落は広がり、今では10万本以上が自生化しています。花期は3月中旬から4月中旬まで長期に楽しめます。



自然を満喫したハイキングから戻ったあとは、植物の権威の葛山博次先生の講演です。

昨年も講演をいただき、たいへん好評だったので今年もお迎えいたしました。テーマは「先人の知恵に学ぶ薬草について」の続編です。民間薬とは、漢方薬や西洋医学と異なり即効性はないけれど副作用もないそうです。でも今、その長い歴史の中でその伝承が消えつつあります。今こそ子や孫にぜひ伝えてほしい。そして、先人の知恵をこれからの時代に活かしてほしいと葛山先生は熱く語られました。

民間薬の事例として、センブリ（健胃薬）ヨモギ（神経痛・冷え性）ドクダミ（高血圧・冷え性）スギナ（高血圧）ワサビ（防腐・殺菌）等たくさんあります。また、自然薯（ヤマイモ）は生で食べられる生薬でもあり、カボチャのワタも栄養のかたまりだからスープにして食べましょうとアドバイスされました。

こんなことも話されました。「ビワのある家は病人が絶えない」といいますが、その本当の意味は「優れた医者は、薬効のあるビワの木を屋敷内に植えて治療に活用した。そういう医者のところには病人が次々やってきて絶えることがない」ということでした。皆さんの家のビワの木を大切にしましょうと。



葛山 博次氏

元四日市工業高等学校校長
元三重大学教育学部講師
元三重県環境影響評価委員
三重県藤原岳自然科学館運営委員長
いなべ市屋根のない学校講師

早春のシンボル
“みつまた”の花





市民交流の日 レポート 3月21日(木) 19:30~ 市民協働センター

テーマ 続：ごみ減量について 自分はこうしている。こうしたい。

アドバイザー：環境森林部 廃棄物対策室 小田氏、村山氏

《前回の意見から》

●：市民 ○：市廃棄物対策室

○ペットボトルの回収については今年度に検討委員会を設置し21年度から回収したい。

●ペットボトルも石油資源（燃料）として使うのも方法では。

●市民に分別で手間隙かけさせるのも必要。

●リユース（再使用）は、3回で元が取れるそうで、服地にしたりするリサイクルよりもいいのでは。

●不法投棄に厳しくしてほしい。

○市職員は罰金を払えとは言えないので警察に頼むしかない。軽微なものは環境巡視員とタイアップしている。連絡してもらえば現地確認する。警察に捜査を頼むこともある。現場を見たら車のナンバーとか会社名とかを警察に通報することが身の安全につながる。



《自分はこうしている》

●米のとぎ汁を庭の樹木にまいている。野菜の残りは土に埋めている。ミミズが増え肥料が要らない。食事は残さないようにしている。魚の骨も焼いて食べる。マイバックを使っている。

●家庭菜園に生ごみを使っている。

●ペットボトルはスーパーに返している。

○コンポストを自分の家でするのは難しい。敷地がない家も多い。

●コミュニティ単位ではやれるかも。

●包装の軽減化を外に向かってどう発信するか。

●根菜が好き、皮をむくとごみが出るのでなるべく皮をむかないで食べている。

○平成13年に野焼きが禁止された。

○700度以下だとダイオキシンがでる。250~300度で再合成がおこる。ダイオキシンは20年後に害が出るともいわれる。

●マキやダンボールを燃やすマキ風呂も問題ではないか。自分はよくても近所が迷惑する。

●庭木のせん定の残りは捨てないで庭にまいている。

●車間距離をとってアイドリングストップしてエコ運転している。

●ごみはごみである。減量をこころがける。

●ごみは太陽で乾かさそう。

●ペットボトルをなるべく使わないようにしよう。

●不必要な食材を買わないこと。今は便利な世の中だから冷蔵庫は要らないのでは。

●月に一回は冷蔵庫の奥をのぞいて整理する。空腹時に買い物に行かない。

●家庭で子どもたちにも教育を。冷蔵庫をすぐ閉めるとか。電気をすぐ消すとか。家庭の問題として捉えないと良くならない。



4月21日のテーマは、「2008年度きらめき亀山21のあり方（テーマ）について」を予定しています。是非、ご参加ください。



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などの代表者の方に市民活動を始めたきっかけや、これから活動をはじめの方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は「亀山こども劇場」の辻 貴子さんです。

子ども達はみんなの宝物。その健やかな成長は誰もの願いです。

『子ども達に夢を！たくましく豊かな創造性を！』

この言葉を合言葉に、生まれたのがこども劇場です。

プロの生の舞台公演を観ること(年4回)

仲間と一緒に思い切り遊ぶ(月1回ほど)

これが活動の二つの柱です。



正しい生活習慣・学習・スポーツなど、子ども達にとって大切なものはいっぱいありますが、生の舞台芸術に触れ心をゆさぶられるような体験は、意識して求めない限りなかなか得られません。遊ぶことと感動することで、子ども達は成長します。ただ心の成長は、身体と違って目に見えるものではないですし、普通は 今日舞台芸術に触れたから明日一つ成長している というものでもありません。でもその体験を積み重ねることが、子ども達の心を確実に育てていきます。

こんなに豊かに見えるのに、幸せを感じる数値は、日本の子どもは低いそうです。自分自身を大好きだと思い、大切にされて機嫌のいい子どもは、人にも優しく出来るはず。子どもが加害者になってしまう事件が起こるのも 子ども達の生き苦しさの表れでは と辛くなります。舞台という非日常の空間で、自分とは違う生き方を知ること、子ども達は“愛・勇気・絶望・希望・悲しみや苦しみ”といった感情を知ります。美しい音楽に心が弾んだり、コントに笑ったりもします。舞台と向き合う時間は自分ひとりのもの。それは一時停止もリプレイもできないただ一度だけの時間でもあります。柔らかな子ども達の心に“テレビやゲームでは得られないものを届けることができたら”と願っています。

「子ども達の育ちを応援しよう！ついでに自分も楽しむぞ！」と思ってらっしゃる大人の方の入会も大歓迎です。みんなと一緒に遊びましょう。外で、中で、身体を使って、何かを作って.....遊びたいこと一杯ありますよね。でも今のお父さん、お母さんは、毎日の生活が大変で忙しいですよ。それだからこそ、たくさんの仲間たちと一緒に子ども達を育てていきましょう

(入会金一人500円、会費月一人1000円3歳以下は不要。)

亀山こども劇場 運営委員長 辻 貴子

これからの企画

- ・4月29日(火・祝)子どもフリーマーケット 青少年研修センター
- ・5月11日(日)こどもわいわいまつり 市内小学校
- ・6月20日(金)舞台公演 「きずだらけのりんご」劇団なんじゃもんじゃ
- ・7月 人形劇「火曜日のごちそうはひきがえる」人形劇団京芸

2009年

- ・2月1日(日)和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」古典空間

* 幼児とそのお母さんと一緒に遊ぶ「わんわんクラブ」





いす
亀山車椅子フォークダンス同好会より

第2回車椅子ダンス&フォークダンスの集い



- と き : 5月24日(土)午後1時30分~午後3時30分
 ところ : 亀山市社会福祉センター 3階ホール
 内 容 : フォークダンスの発表会や歌ったり、踊ったり、レッスンなどもあります。
 その他 : 軽い運動ができる服装でお越しください。
 亀山市、鈴鹿市、四日市の皆さんに参加を呼びかけています。
- 問合せ : 亀山車椅子フォークダンス同好会 渡辺 TEL・FAX 82-6060

市民説明会 『亀山市協働の指針』説明会

協働とは何か?協働するためのしくみづくりなどを説明させていただきます

- と き : 4月10日(木)と4月19日(土) 午後1時30分~
 ところ : 市民協働センター 2階 大会議室
 問合せ : 亀山市市民部 市民相談・協働推進室 TEL 84-5007

アップ

イイこと up!

このコーナーでは、おすすめな情報やアドバイス・健康にいいことなどをワンポイントで取り上げています。

会話を楽しんで♪脳がフル活動☆脳に刺激を!

相手の話・相手の表情を観て聴いて、自分の考えや思いを言ったり聞いたりすると、脳が活性化します。つまり、人と会話をする事で、脳のおとろえを遅らせ、痴呆を防止することができます。また、人に話をする事で、うつなどの心の病になりにくくなります。

4月を迎え、新たな気持ちで人とふれあい、おしゃべりして、楽しくコミュニケーションをとるようにしましょう。そうすれば、あなたの生活も、生き生きしてきますよ!(^o^)



市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。

詳しくは、市民相談・協働推進室 (Tel 84-5007、Fax 82-1434、Email : shimin@city.kameyama.mie.jp)
 又は、市民協働センター (東町一丁目8番7号 Tel.84-5800 Fax.84-5801、
 Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp) へご連絡ください。

編集作成 : 「きらめき亀山21」広報部 (問い合わせ先 : 亀山市市民部市民相談・協働推進室 0595-84-5007)
 〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX 0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp
 この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子唄会館・老人福祉センター・健康づくり関センター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・郵便局・亀山駅・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)】ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
 「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。